

在京白聖會報

第34号

平成25年3月16日

・発行・

在京白聖会
(事務局)〒162-0835 東京都新宿区
中町1番地11号 桜出版 内
TEL&FAX.03-3269-0900
sakuraco@leaf.ocn.ne.jp
(http://www.hakua.sokei.co.jp/index.html)

題字：浅沼一道

在京白聖会
2013 総会

集え！ 猛者達よ

5月11日(土) 東京ガーデンパレスで開催

第45回総会は5月11日(土)に、昨年と同様東京ガーデンパレスにて開催いたします。今回の幹事は昭和56年卒百聖会が務めさせていただきます。

昨年は「フルサトラ想ヒテ」をテーマに312名の方々にご参加いただき、さんさ踊りを始めとする故郷への思いを込めたイベントでご来場の皆さんに大いに楽しんでいただきました。そこで今年は「集え！ 猛者達よ」をテーマに、ご参加いただいた

皆様に楽しんでいただけるよういくつかのアトラクションを企画しております。まずは「百周年卒業生 百聖会からの挑戦状」在京白聖会クイズ大会」と題し、母校・岩手にちなんだクイズ大会を予定しております。またそのほかにも、皆さんと一緒に盛り上がること間違いなし

のサプライズ企画も準備しております。

さらに総会に先立っては、東北大学大学院工学研究科教授であり、東北大学加齢医学研究所でスマート・エイジングを研究している西條芳文氏(S56年卒)に「スマート・エイジング・日本の生きる道」と題する



56年卒幹事団が制作した総会のイメージポスター

日時：5月11日(土)
講演会 15時～／総会・懇親会 16時～
受付開始14時30分より

場所：東京ガーデンパレス (03-3813-6211)
(文京区湯島1-7-5) ※昨年の会場と同じです。

参加費：一般10,000円
(在京白聖会平成25年度年会費2,000円を含む)
学生・院生3,000円
(同上/但し、社会人・主婦の院生は一般扱い)

講演会〈講師とテーマの紹介〉

テーマ：「スマート・エイジング-日本の生きる道」

講師：西條芳文 (さいじょう よしふみ/S56年卒)



東北大学大学院医学研究科教授
昭和63年東北大学医学部卒業、平成5年東北大学大学院医学研究科修了。
仙台厚生病院循環器科、公立深谷病院循環器科、東北大学加齢医学研究所勤務。
平成20年東北大学大学院工学研究科教授、平成22年東北大学加齢医学研究所スマート・エイジング

国際共同研究センター兼務。
専門 医用イメージング、超音波医学、循環器病学。



Webでの在京白聖会総会・懇親会への申し込みは
<http://45zaikyohakua.doorkeeper.jp/events/3026>



M旗が待ってるぜー! (昨年の総会風景)

講演会を予定しています。皆様が年に一度、故郷岩手・盛岡を思い出していただきながら旧交を温め、かつ新しい若い人々たちとも出会う場としたいと思っております。多くの方のご来場を心からお待ちしております。

なお、出欠につきましては、同封のハガキにて4月12日(金)までにご投函下さい。また、ウェブサイトからの申し込みも可能です。

(56年卒幹事団)

在京白聖レディス会

参加者募集

銀座でランチ

第9回在京白聖レディス会
6月22日(土) 開催

日時：6月22日(土) 12時30分～15時30分(12時から受付)

場所：レストランSUN-EI(サンエ) 高松本店▼中央区銀座6-3-9

電話(03)5568-3300

会費：5,000円(在京白聖会年会費未納の方はプラス2,000円)

ゲスト：未定(鍼灸を身近に)をテーマに企画)

幹事：戸来ソウ子

電話(03)3795-1467

申込：参加ご希望の方は、6月1日(土)までに、住所・氏名・卒業年次・電話番号を幹事まで電話(留守電になっています)あるいはメールにてご連絡下さい。

なお、当日のキャンセルはご容赦下さい。



第12回中世城郭探訪／第8回ル・サロン・ブラン

参加者
募集

大椎城とホキ美術館見学

合同開催ー開催日：平成25年4月6日(土)ー

平安時代に起きた平忠常の乱の拠点として知られている大椎城を見学した後、満開の桜が咲き乱れている昭和の森公園(東京ドーム23個分の広さ、展望台から太平洋を一望



昭和の森公園からの九十九里の眺望

を散策してから、写真絵画専門のホキ美術館を見学します。なお、美術館には、白聖芸術祭常連の山中雅彦さん(S49卒)の作品も展示されています。皆様お誘い合わせてご参加下さい。

〈開催要項〉(雨天決行。荒天時、翌7日(日)に実施)

▼行程 10:00 JR外房線土気駅集合
↓大椎城↓昭和の森公園(昼食・自由喫食)↓ホキ美術館↓17:00頃土気駅解散(歩きやすい軽装でご参加下さい)

▼定員 20名

▼申込・問合せ&締切 4月3日(水)までに大澤邦雄(S43卒)へ電話(03・6459・0041)またはメール(tdcpt.otsawa@yahoo.co.jp)にてお申込み下さい。定員に達し次第、締切。詳細は大澤まで問合せ下さい。

第7回ル・サロン・ブラン(芸術鑑賞クラブ)

活動報告

古河・篆刻美術館を訪ねて

平成24年11月10日、古河市篆刻美術館を訪ね、企画展「中国古銅印の美」を鑑賞しました。また篆刻実技体験もし、小印を製作しました。参加者(9名)全員が鑑賞、実技に熱心に取り組み充実した一日でした。(S50年佐藤法雄記)



佐藤さんの指導で篆刻に挑戦

第10回在京白聖会ゴルフ大会

活動報告

年次対抗は40年卒チームが優勝

ー平成24年10月26日(金)ザ・ゴルフクラブ電ヶ崎ー

昨秋開催された第10回在京白聖会ゴルフ大会は5チーム19名が参加。年次対抗の部優勝は40年卒(細越博資さん・江尻伸さん・小林昌彦さん・斎藤修さん)・2位は41&43年次混成、3位は42年卒チームでした。

個人の部優勝は鈴木昭久さん(S20卒)、2位は斉藤修さん(S40卒)、3位は石井充さん(S42卒)でした。

今回から、前回の優勝年次が幹事を行うことになり、今回は



第9回「歌の祭り」

参加者
募集

「お好きな歌」をピアノ伴奏で歌いましょう

ー開催日：平成25年8月4日(日) 催行ー

夏の歌祭りを「ブルーティ」(渋谷区笹塚)で開催します。幅広い年次のOBに参加いただき、歌を通じてリフレッシュしていただくという主旨です。近況報告、懇談後全員で校歌、日本の歌を歌唱、各自のエントリーの歌を2曲以内、ピアノ伴奏で歌唱いただきます。新規の方々も奮ってご参加下さい。

〈開催要項〉

▼日時 平成25年8月4日(日) 12時～17時

▼場所 BLUE-T (ブルーティ) 渋谷区笹塚1の61の8 ホテル ルガル1Fに併設 03・3375・1474

▼アクセス 京王線、京王新線 笹塚駅北口より甲州街道調布方面へ道沿いに徒歩5分

▼会費 一律5千円(食事、飲み



2月10日(日)、都内笹塚「ブルーティ」で開催した第8回「歌の祭り」には23名参加し、楽しいひと時を過ごした



馬場信会長(右端)と優勝チーム(S40卒)の皆さん

平成25年1月24(木)～28日(月)
開催場所: ガレリア原宿 (神宮前3-14-17)

白堊芸術祭2012^{年度}〈出展リスト〉

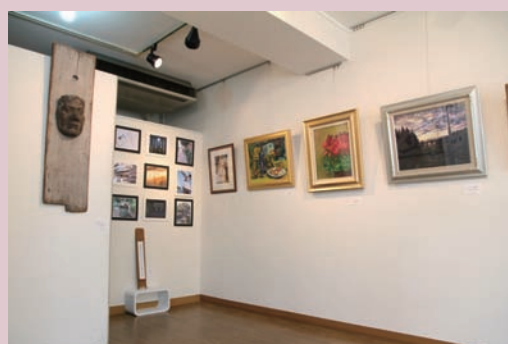


在京白堊人の交流の場 「白堊芸術祭」を盛大に開催

平成24年度「白堊芸術祭」が平成25年1月下旬、昨年と同じ神宮前の会場で開催されました。第5回目を迎えた今回、1月26日(土)には、恒例となった野口田鶴子さん(S40卒)による宮澤賢治&五行歌の朗読のほか、会員が得意な歌や演奏などを披露。イベント後はパーティーで交流を深めました。

なお、平成25年度白堊芸術祭は広い神田の会場に移し、今秋、開催の予定です、ご期待下さい。

小木曾綾さんの民族楽器
ブサルテリーの伴奏で朗読
を行った野口田鶴子さん



▲山中雅彦 (S49卒) 〈秋の小径・1〉



▲山中雅彦 (S49卒) 〈桜〉



▲三浦千波 (S50卒) 〈みちのくの滝〉



▲平野恵子 (渡部恵子)
(S53卒)
〈立ち上がる〉



▲伊東明子 (S50卒) 〈シクラメン〉



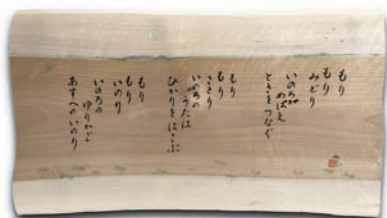
▲坂本美枝子 (S45卒) 〈歓迎〉



▲菊池雅子 (S44卒) 〈幸せの誓い〉



▲福田 隆 (S49卒) 〈山間の秋〉



▲辻田よね子 (辻やのか) (S55卒)
〈もり・とり・いのり〉



▲小野寺長道 (S28卒) 〈赤いカーテン〉



▲伊藤馨一
(S52卒)
〈Le Misanthrope〉



▲板倉洋子 (S28卒) 〈南仏 コンク〉



▲毛利洋子 (S41卒) 〈静物〉



▲鍛冶順子 (S61卒) 〈パリの風景〉



▲高橋正美 (S31卒) 〈鏡の前の人形〉



▲三宅 保 (S34卒)
〈早春の小岩井農場と岩手山〉



▲神尾 厚 (S30卒) 〈静物〉



▲内村 泰 (S39卒)
〈十三佛法曼荼羅〉



▲佐藤法雄 (佐藤容齋) (S50卒) 〈一意専心〉



▲武田夏実 (素虹) (S53卒) 〈春の夜〉



▲三浦千江美 (S53卒) 〈光〉



▲池上敦子 (S50卒) 〈道〉

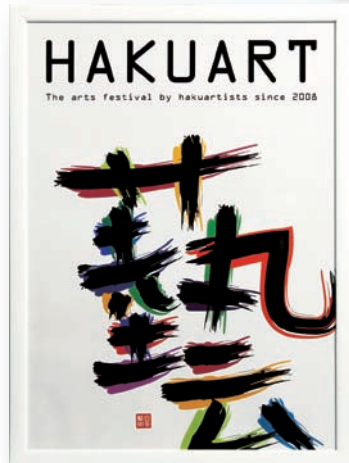


▲川野範子 (S61卒) 〈無題〉

▶及川昭伍 (S25卒)
〈三彩透彫文壺〉



▲坂上洋子 (綾華) (S40卒) 〈祈り〉



▲水原 滋 (S50卒)
〈HAKUART 2013〉



▲太田正孝 (S25卒)
〈鍛四分一香炉「里山」〉

▶千葉祐治 (S41卒)
〈箱〉



▲浅沼榮一 (浅沼一道) (S27卒) 〈響音無改〉



▲橋本時浩 (S53卒)
〈デコイと果物〉



▲宮野谷 篤 (S53卒) 〈朝もやの釜石〉



▲南館英孝 (S36卒)
〈静物「国と鳥？」〉



▲玉澤健児 (S43卒)
〈何カ文句アッカ? オコルゼー!〉



▲及川 謙 (S61卒)
〈ヤムユリ・リンドウ・先シルル系〉



▲高橋修三 (S51卒) 〈写真パネルプレゼント〉
高橋修三さんは、東日本大震災時、陸前高田で殉職された警察官の兄への追悼の気持ちを込め、ご自身が撮影された岩手の写真パネル数10枚を無料で配布しました



▲伊藤公雄 (S34卒) 〈水かけ祭り〉



▲村野井徹夫 (S35卒)
〈都会の夕暮れ〉



▲坂本 務 (S44卒) 〈構成一赤〉



▲大澤邦雄 (S43卒) 〈花宵(銀河鉄道の夜)〉



▶早坂光平 (S31卒) 〈俳句〉



▲八重樫誠司 (S53卒)
〈Dancing Manta〉

写真五行歌作品

小川達雄 (八十若・S22卒)
星 邦彦 (だいてんち・S36卒)
稲垣裕雄 (伊奈裕・S38卒)
二宮まゆみ (ろろちち・S42卒)
山田武秋 (S42卒)
吉田美雅子 (S45卒)
武田夏実 (菜摘・S53卒)
三浦千江美 (もも・S53卒)
村谷 尚 (S54卒) ほか



▲阿部克行 (S31卒)
〈初恋 ほか〉



▶菊池むつみ (S40卒)
〈オカリナ演奏〉



遊座昭吾先生から「一高出身の建倉圭介という凄い作家がいるが知ってるか」と聞かれたのが3年ほど前。それから「建倉圭介」探しが始まった。彼の『デッドライン』は主人公が日系二世で盛中OB。敗戦直前、故国に原爆投下の機密を伝えるためにアラスカ→アリユンシャーン→樺太→北海道と渡り、盛岡へ。さらに東京で米内光政に会うというスケールの大きなハードボイルド冒険小説。「建倉圭介」のミステリーに迫った。

建倉圭介

(S46卒)

極上のハードボイルドな世界



仕事で英国滞在中にミステリーを書き始める

——『デッドライン』は2007年版「このミステリーがすごい！」で10位タイになりましたね。4位が大沢在昌の『狼花』



『デッドライン』の単行本と文庫本(上・下巻)は絶版になっているが、今後電子書籍になる予定。2012年10月刊の『東京コンフィデンス・ゲーム』(光文社)が発売中だ

新宿鮫Ⅳ、6位が宮部みゆき『名もなき毒』、9位が東野圭吾『赤い指』で、堂々たるランクインでした。そこでまず、建倉さんが冒険小説を書くようになったきっかけを教えてください。

建倉 学生時代から帰省列車の中で松本清張などのミステリーを読むようになりました。自分で書くようになったのは1986〜87年の2年間、仕事でイギリスに滞在したのがきっかけです。夜、暇なときに原稿用紙に向かい、帰国してからまとめました。純文学の作家とはちがう、ミステリー関係の作家

には、読者から入っていったという方がけっこう多いですね。——そして1997年に『クラッカー』で第17回横溝正史賞の佳作を受賞された。

建倉 ええ、私のデビュー作でしたが、その年の11月10日に、藤田まことさん、菅野美穂さん出演でTBSの月曜ドラマスペシャルで放送されました。翌年は『ブラック・メール』を同じ角川書店から出しました。

——その後『デッドライン』まではブランクがありますね。

建倉 2006年ですから、丸8年です。そのうち5年は資料集めで、実際に書いたのは後半の2〜3年です。

——普段仕事をしていた、小説はいつ書いているんですか。

建倉 週末と夜です。プロットを決めて書き進んでいます。

『デッドライン』は最初150

真に頼りになる能力は人事評価とは別のもの

——『デッドライン』の粗筋を覚えて下さい。盛中との関わりも。

建倉 日系2世のミノルは中学時代を両親の故郷盛岡で過ごします。無論、通ったのは盛中です。帰米時に友人から贈られた宮澤賢治の詩集「春と修羅」が愛読書です。日米開戦後、強制収容所を経てペンシルベニア大に編入学し、そこで世界初のコンピュータ開発に携わる中、後にコンピュータの父と称されるフォン・ノイマンと知り合います。彼との関係から原爆が開発されたのを知り、その事実を日本に知らせるために様々な先住民と接触しながら米国を脱出し、日本へ密入国します。そして早期降伏を説得すべき相手が当時最も講和に理解があつた米内光政海相ということになります。

——『白聖OB』には堪えられない小説ですが、どうしてこんなストーリーを考えたんですか。

建倉 二十世紀の二大発明であるコンピュータと原子力が、ノイマンという人物を通して結びついていくことに関心がありません。そこに日系人を登場させることで先住民族を含めた人種

0枚書いて、1250枚まで削りました。仕事をしながらだと長編は時間がかかりますね。でも、いろいろと構想を考えている時間が楽しいんですよ。

差別問題も取り上げたいと考えました。脱出ルートも、その昔モンゴロイドが米大陸に渡ったとされる経路の逆にしたのは、それを強調する意図からです。

——建倉さんの冒険小説の主人公は、盛中OBのミノルもそうですが、決してかつこ良いヒーロータイプではありませんね。

建倉 一貫して「まきこまれ型」ですね。素人が危機を乗り越えて成長していく姿を描く楽しみがあります。近著の『東京コンフィデンス・ゲーム』も負け犬たちが起死回生の信用詐欺を仕掛けながら自信を取り戻していく話です。構想中のものは、傾いた企業が敵対的買収を仕掛けられた時に、普段は評価されていないけれどもどこか失った才能の持ち主たちが会社を救う話です。私も人事評価制度を作ってきましたが、そういう才能を評価できていたか疑問ですね。当分は完全無欠なプロを描くのではなく、弱みを抱えた人間が危機に際して思わぬ突破力を発揮するような物語を書いていくことになると思います。

——ご活躍を期待しています。

ア・ラ・カルト

新クラブ活動「東京で活躍する
白聖医療関係者の会」発足準備へ

新クラブ活動として、柴孝也さん（S33卒）らが発起人となって「東京で活躍する白聖医療関係者の会」（仮）創設の準備が進められています。白聖同窓の医療関係者は首都圏にも大勢います。このネットワークを、白聖同窓の皆様に広く役立てていきたいというのが趣旨ですので、関係者の皆様には、ご協力をよろしくお願いいたします。

白聖だけのSNSサイト

「白聖友の会」で楽しい交流を

「白聖友の会」は、木村忠文さん



山児会（S32卒）の皆さん（2012年9月27日[木] 東郷神社和楽殿）

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420（42年卒・白聖五行歌会代表・山田）まで電話またはメールでお気軽にご連絡ください。Eメールアドレス sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

源氏の香り
漂う源氏山公園
落ち葉の絨毯を
ハイカーたちが
歴史を踏みしめる
伊奈 裕（S38卒）

「恋のチャンス大到来」
占い師の友の予言
気配も無く過ぎた年月を
指折る
初空に向かい
ろろちち（S42卒）

蒲の穂も
エノコログサも
寒の入り
綿帽子にて
トッピングOK！
村谷 尚（S54卒）

山おろしが
たいらに磨き上げた
岩洞湖の湖水
ワカサギの楽園を
湖底に隠す
山田武秋（S42卒）

※2012年10月～2013年3月までの作品から。名前はペンネームもあります。

3月16日[土]より全国東宝系で公開
大友啓史監督「プラチナデータ」
前号で紹介した大友啓史さん（S60卒）が監督した『プラチナデータ』が3月16日（土）から全国東宝系で公開されます。原作が東野圭吾で、二宮和也主演のこの映画の完成披露試写会には10万通を超える応募が殺到し、東宝史上最高倍率になりました。「まさにプラチナチケットになった」とは大友啓史さんのつぶやき。前作を上回る評判です。ぜひ、劇場に足をお運び下さい。

日経新聞に執筆「岩手を知る」
高橋温さんの連載が冊子に
昨年1月から6月までの毎週火曜日、日経新聞夕刊に24回連



載された高橋温さん（S35卒）の『岩手を知る』が、小冊子になって配られました。連載中から評判になっていったものです。

▼「在京白聖会」と白聖同窓会
の会費は別々の納入になります
在京白聖会は、昭和43年（1968）夏の母校野球部甲子園出場を機に、翌44年、首都圏在住の地方組織として創立されました。従って、在京白聖会と白聖同窓会は、連携しながらも、それぞれ独自に活動し、会費の納入も別々をお願いしています。
事情をご理解の上、これからも在京白聖会、白聖同窓会それぞれへの会費の納入にご協力下さいますよう、よろしく願っています。
▼啄木終焉の地歌碑建設の募金にご協力下さい
今回は、「在京白聖会会報」第34号と一緒に、「啄木終焉の地歌碑建設募金」

ご注意とお願い

お願いのチラシと募金用の振替用紙を同封させていただきます。

盛中の先輩で国民歌人の石川啄木は、明治45年4月13日、文京区小石川5丁目（旧小石川久堅町）で亡くなりました。ここには「啄木終焉の地」の石碑が建てられました。現在は撤去されています。そこで盛岡市と姉妹都市となっています。文京区は「石川啄木ゆかりの地」地域文化交流に関する協定を結ぶなど交流を深めており、昨年、啄木終焉の地に石碑に変わる歌碑建設を決めました。完成予定は平成26年末ころです。募金は文京区が設立する「石川啄木基金」に寄付されますので、ご協力をよろしく願っています。

「減災と市民ネットワーク」
三船康道さんがまちづくりの本
安全・安心のまちづくりを提案している三船康道さん（S43卒）が、次の大災害に備え災害に強い地域社会をつくるまちづくりのあり方を事例を交えて解説した本を出版。

九戸戦始末記
早坂昇龍（S53卒・工藤英司）さんが、『九戸戦始末記 北斗英雄伝』第二巻を出版。



編集後記

▼東日本大震災から丸2年。昨年は石川啄木没後100年だったが、啄木の歌に被災者の心を癒す力があることを知った一年でもあった。啄木終焉の地歌碑建設は、岩手を元気にするために応援したい事業だ。▼「アツドライン」の建倉圭介さん筆名がどなたかは、同級生の皆さんならご存知のはず。この本は映画化したら絶対に面白い。大友啓史監督で実現できたらいいなあ。岩手が元気になるぞ。



「豊かさ神話は崩壊した」は、元毎日新聞論説委員の今松英悦さん（S43卒）が『豊かさ神話』は崩壊した―日本経済は何を間違ったのか―を出版。内容は経済を中心に多分野にわたり、40年近い記者生活の総括ともいえる一冊です。

お願い
総会に出席できない方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円をお振込み願います。手数料節約のため、お振込みはなるべく窓口ではなく、ATMのご利用をお願いします。